

算数科 小学校 3年

単元名 一億までの数
啓林館 わくわく算数3下

単元の流れ (全 11 時間)

【第1時】

主な学習内容

- ・一万までの数のしくみを確認しながら復習をする。
- ・網野町の人口(○を人と見立てた掲示物)をよむ。
- ・既習の数の構成をもとに、人口の数の構成を考え、数字で表す。

【第2時】

主な学習内容

- ・百万までの数を作る活動を行う。
- ・百万がいくつ集まったら千万になるかを考える。

【第3・4時】

主な学習内容

- ・小学校3年生の人口の数の構成を基に、人口のよみ方、かき方を考える。

【第5時】(本時)

主な学習内容

- ・数のしくみを基に、一番小さい目盛りがいくつを表すか考える。
- ・数直線上に表された数をよんだり、数直線上に数を表したりする活動を行う。

単元目標

- ・一万をこえる数のよみ方、かき方、仕組みを理解する。
- ・10倍、100倍や10でわることについて理解する。

単元構成の意図

本単元では、一万より大きな数についての、数のよみ方(命数法)・数のかき方(記数法)、数の構成、大小比較、順序、10倍や10でわった数などの数の乗法的なしくみを学習していく。第2学年までに、児童は、一万までの数について、十進数のしくみや位取り、命数法・記数法、数の系列、順序、大小などの基礎的なことを学習してきた。本単元では、それらのことが、数を千万の位まで拡張しても同じように考えられるようにすることをねらいとしている。また、「数の相対的な大きさ」についての理解を深めることも大切である。

この単元では、まず、千万までの数のよみ方、かき方及びそのしくみについて学習していく。そして、千万までの数のしくみの理解を、数の相対的な大きさについての理解や数直線の理解、大小比較に繋げていきたい。さらに、数を10倍する、10でわるという学習を行っていく。

第2学年で学習した「1000までの数」や「10000までの数」を確かめながら千万までの数についての理解を深め、第4学年で学習する「一億をこえる数」に繋げていく。

【第6時】

主な学習内容

- ・20円を10倍することについて考える。
- ・20円の10倍の考え方を基に、25円を10倍することについて考える。

【第7時】

主な学習内容

- ・10倍することをもとに、数を100倍することについて考える。
- ・100の100倍について考え、25の100倍との共通点を考える。

【第8時】

主な学習内容

- ・ $50 \div 10$ 、 $250 \div 10$ の求め方について考える。

【第9時】

主な学習内容

- ・250万は1万を何個集めた数かを考える。
- ・千の10倍が1万ということを基に、250万は千を何個集めた数かを考える。

【第10時】

主な学習内容

- ・(何万何千) \pm (何万何千)の計算の仕方を考える。

【第11時】

- ・単元を振り返り、できるようになったことなどを交流する。
- ・評価問題に取り組む。

「活用」の力を育てるポイント

- ① 考えの流れを書く。
- ② 大きな数をつくり、大きな数の量感をつかむ。また、10個集まることで新しい位になることを実感する。
- ③ 大きな数をよんだり、かいたりする。
- ④ 数直線上に表された数をよんだり、数直線上に数を表したりする活動をする。

「知識・技能」定着のためのポイント

- ① 大きな数をつくり、大きな数の量感をつかむ。また、10個集まることで新しい位になることを実感する。
- ② 右から4桁で区切り、一、十、百、千の繰り返しであることに気付かせる。
- ③ 数直線の一番小さい目盛りがいくつを表すのかを考えさせる。

本時の流れへ

授業展開例へ

評価問題

HOME